

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 9 - 39

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		雄武・沢木・幌内簡易水道統合認可事業								
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	水道係					
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長				
		氏名	大場利昭		氏名	江田一夫				
事業の概要	簡易水道等施設整備費国庫補助事業制度改正により、事業経営者が同一であって、会計が同一または、一体的な管理が可能な水道事業は統合しなければならない。平成21年度までに統合計画書を厚生労働省に提出し、受理後3年以内に統合認可申請が必要となる事業であります。					全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 21 年度 ~ 23 年度)				
						事業費	国・道支出金	千円	地方債	千円
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )						
第5期総合計画(前期)		登載事業	非登載事業	優先度	A					
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～							
	基本施策	17	上・下水道の整備							
	単位施策	1	水道の安定供給							
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務						
	その他計画・根拠等									
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)				
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他財源	千円	0 千円	千円	1,000 千円	千円				
	雄武町負担額(一般財源)	千円	0 千円	千円	7,000 千円	千円				
	合計	千円	千円	千円	8,000 千円	千円				

571

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	国庫補助金の返還が求められる。(第3期拡張事業補助採択要件)	1 簡易水道事業		指標(指標計算式/解説)	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	3 簡易水道を1つに統合する。	1 簡易水道 / 1 簡易水道の実績	目標年度	平成21年度	
			目標値	1 事業	
			実績値	1 事業	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	国庫補助金の返還を求められない。(簡易水道事業統合認可の取得)		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
自前で作成した計画書の提出	厚生労働省に統合計画書を平成22年3月に提出した。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	3簡易水道を1簡易水道に統合して認可を取得することは町が担う必要があります。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	統合計画書を提出し北海道の同意が得られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	自前で計画書を作成したことにより、事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	統合計画書を提出できたことは、概ね公平であると考慮する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A~D)

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画書を提出し同意を得られたことは、目標が達成され、平成23年度申請提出に向け今後も事業を進めることが適当である。		



継続 / 現状維持		
平成23年度に認可申請書を提出しなければならないことから、現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--